

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成21年3月12日 (2009.3.12)

【公開番号】特開2007-218075(P2007-218075A)

【公開日】平成19年8月30日 (2007.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2007-033

【出願番号】特願2006-252748(P2006-252748)

【国際特許分類】

E 0 3 D 5/10 (2006.01)

A 4 7 K 13/10 (2006.01)

A 4 7 K 13/24 (2006.01)

E 0 3 D 9/08 (2006.01)

【F I】

E 0 3 D 5/10

A 4 7 K 13/10

A 4 7 K 13/24

E 0 3 D 9/08 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月23日 (2009.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

便器と、

前記便器の上部後方に設置され、給水源から供給される水を前記便器に供給することにより水洗洗浄を可能とした便器洗浄バルブを内装する本体部と、

前記本体部に回転可能に軸支された便座と、

前記本体部に回転可能に軸支された便蓋と、

前記本体部に設けられ、人体を検知可能な人体検知センサと、

を備え、

前記便蓋を開閉する便蓋電動開閉装置が前記本体部に設けられ、

前記便器洗浄バルブと前記便蓋電動開閉装置は、前記本体部の後部において隣接して設置され、

前記人体検知センサは、前記本体部の上面の後部に、当該上面から突出させて設け、

前記便蓋は、閉じた状態において前記便座及び前記本体部の上面の略全体を覆うことを特徴とするトイレ装置。

【請求項 2】

便器と、

前記便器の上部後方に設置され、給水源から供給される水を前記便器に供給することにより水洗洗浄を可能とした便器洗浄バルブを内装する本体部と、

前記本体部に回転可能に軸支された便座と、

前記本体部に回転可能に軸支された便蓋と、

前記本体部に設けられ、人体を検知可能な人体検知センサと、

を備え、

前記便座に座った使用者に向けて吐水口から水を噴射するノズルユニットと、前記便蓋

を開閉する便蓋電動開閉装置と、が前記本体部に設けられ、
前記ノズルユニットは、前記本体部の前部に配置され、
前記便器洗浄バルブと前記便蓋電動開閉装置は、前記本体部の後部において隣接して設置され、

前記人体検知センサは、前記本体部の上面の後部に、当該上面から突出させて設け、
前記便蓋は、閉じた状態において前記便座及び前記本体部の上面の略全体を覆うことを特徴とするトイレ装置。

【請求項 3】

前記便蓋の後部に設けられ、前記便蓋とは異なる材料により形成された透過窓をさらに備え、

前記人体検知センサは、前記便蓋が閉じた状態において前記透過窓を介して人体を検知可能とされたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のトイレ装置。

【請求項 4】

前記人体検知センサは、人体が発する赤外線を集光するレンズと、前記赤外線を検知する焦電素子と、を有することを特徴とする請求項 3 記載のトイレ装置。

【請求項 5】

前記本体部の前記上面には、周囲よりも凹ませた凹設部が設けられ、

前記レンズは、少なくともその一部が前記凹設部に埋め込まれてなることを特徴とする請求項 4 記載のトイレ装置。

【請求項 6】

便蓋に支持された前記透過窓は、便蓋が閉じて前記透過窓に押圧力が加わった際に、
前記人体検知センサに接触することなく、前記ケースカバーによって支持されるよう配置されている事を特徴とする請求項 3 に記載のトイレ装置。